

筆順指導はどうあるべきか。その基本的な考え方と、具体的な指導法を問う。

筆順とは、文字を書く場合、筆の運びが最も自然で、したがって最も書きやすい順序のことを言います。だから、漢字だけでなく、かなにもローマ字にもあり、また“絵にもある”と私は思っています。

私は、一年生の指導に当たって、鉛筆、クレヨンを初めて手にしたところで、筆順指導をします。

子供にまっすぐな線を引かせます。上から下へ、下から上へ、左から右へ、右から左へ、これを何回も繰り返して引かせ、その時の書き心地をよく味わわせます。

すると、子供たちは、“上から下へ”“左から右へ(左ききの場合は反対)”と書くほうが、その反対の書き方よりも書きよいことを発見します。つまり、きちんと美しい線を引く場合は、“上から下へ”“左から右へ”と筆を運ぶべきことが理解できるのです。

そこで、や を、どう書いたらうまく書けるかを考えさせます。すると、は「↙、↘、→」、は「┌、└、┘」と書くのが、書きよいことがわかります。これを書く練習をさせますと、漢字の筆順も、特別の指導をし

なくても、自分で正しい筆順を発見するようになります。

「三角を二つ書いてください。しっかりときれいに書いてください。できたら、今度は三つ書いてください。皆でいくつになったでしょう。」という問題、「四角を三つ書いてください。できたら、三角を五つ書いてください。どちらがいくつ多いでしょう。」という問題にして、練習させますと、喜んでやります。